

[Redacted text block]

著者らは、PCP塩加燐安の施用上の特長を見出す目

[Redacted text block]

配合量 (%)

梳田注

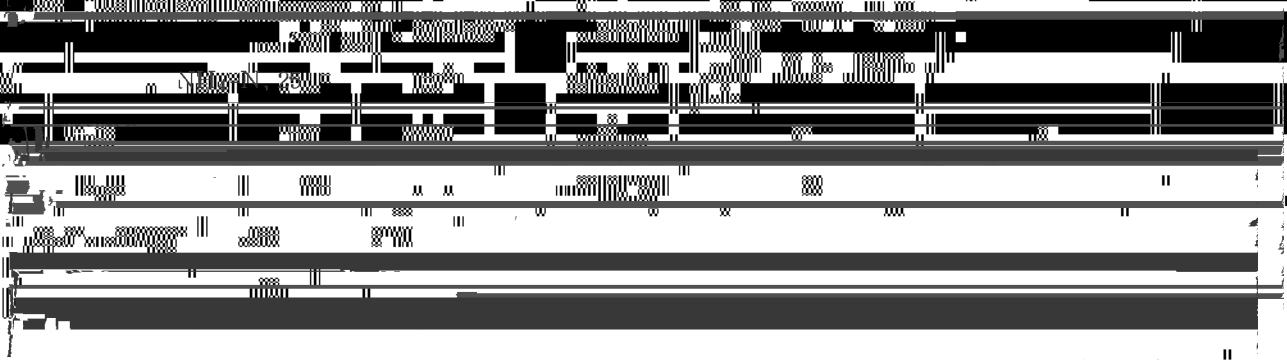


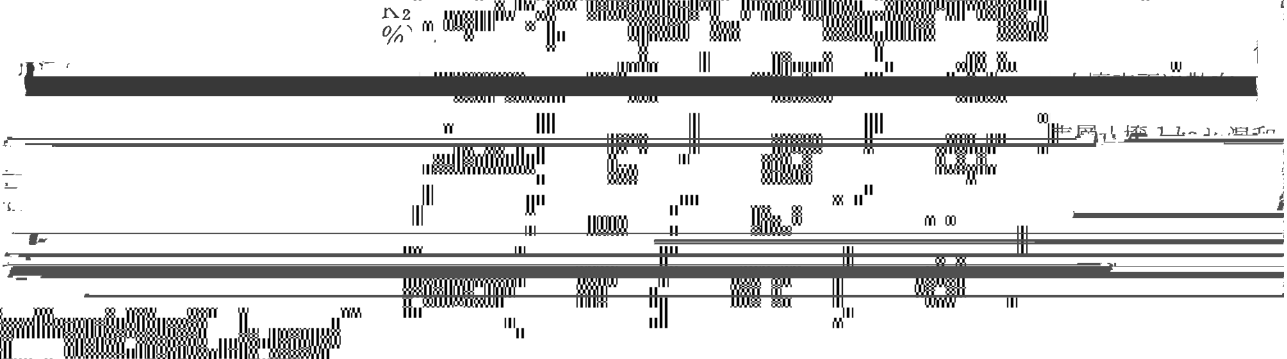
表1 母材原料の原材成分配合量

表1 母材原料の梳田注の左並順

POPENR5 0%



梳田区 任意順序

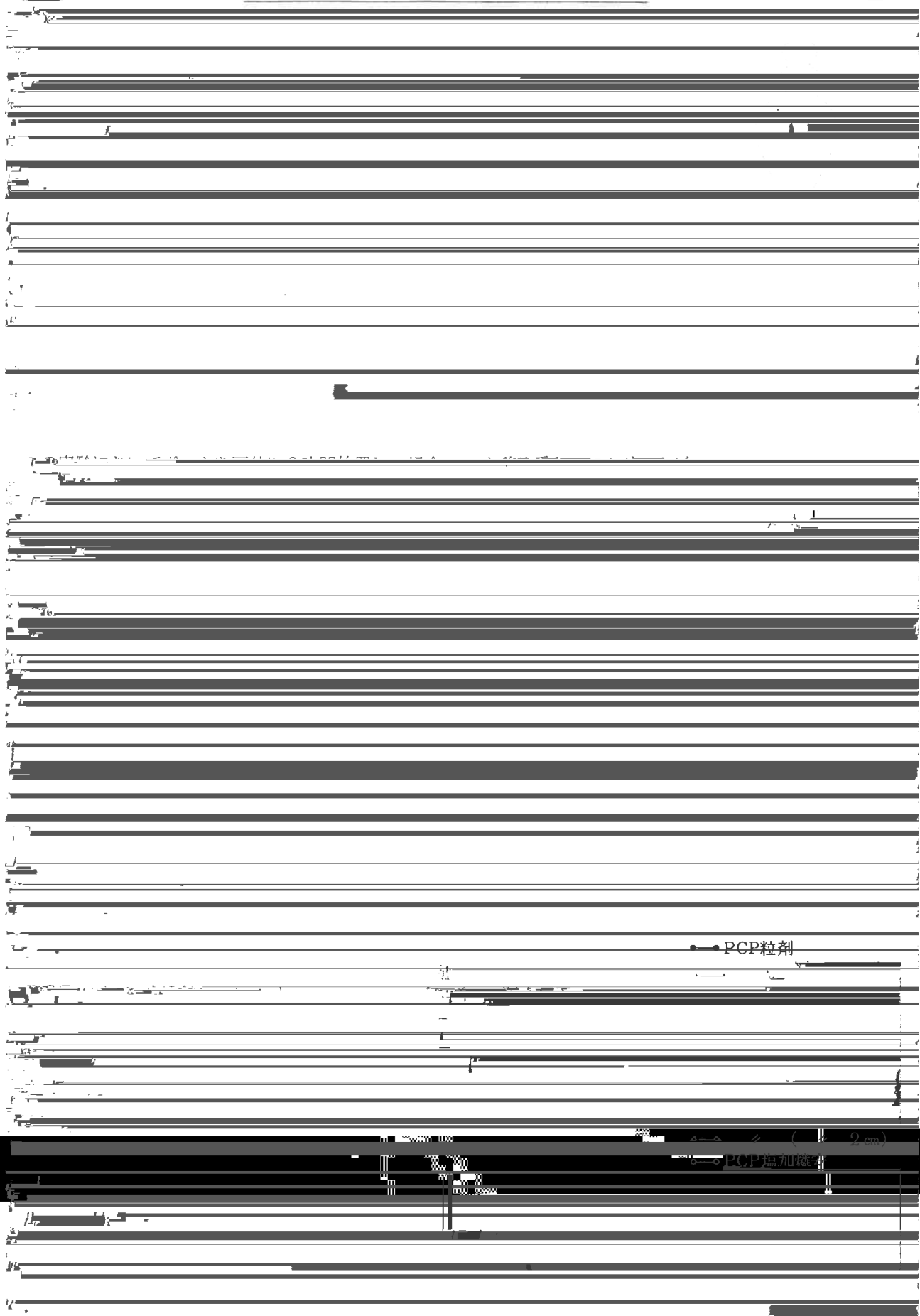


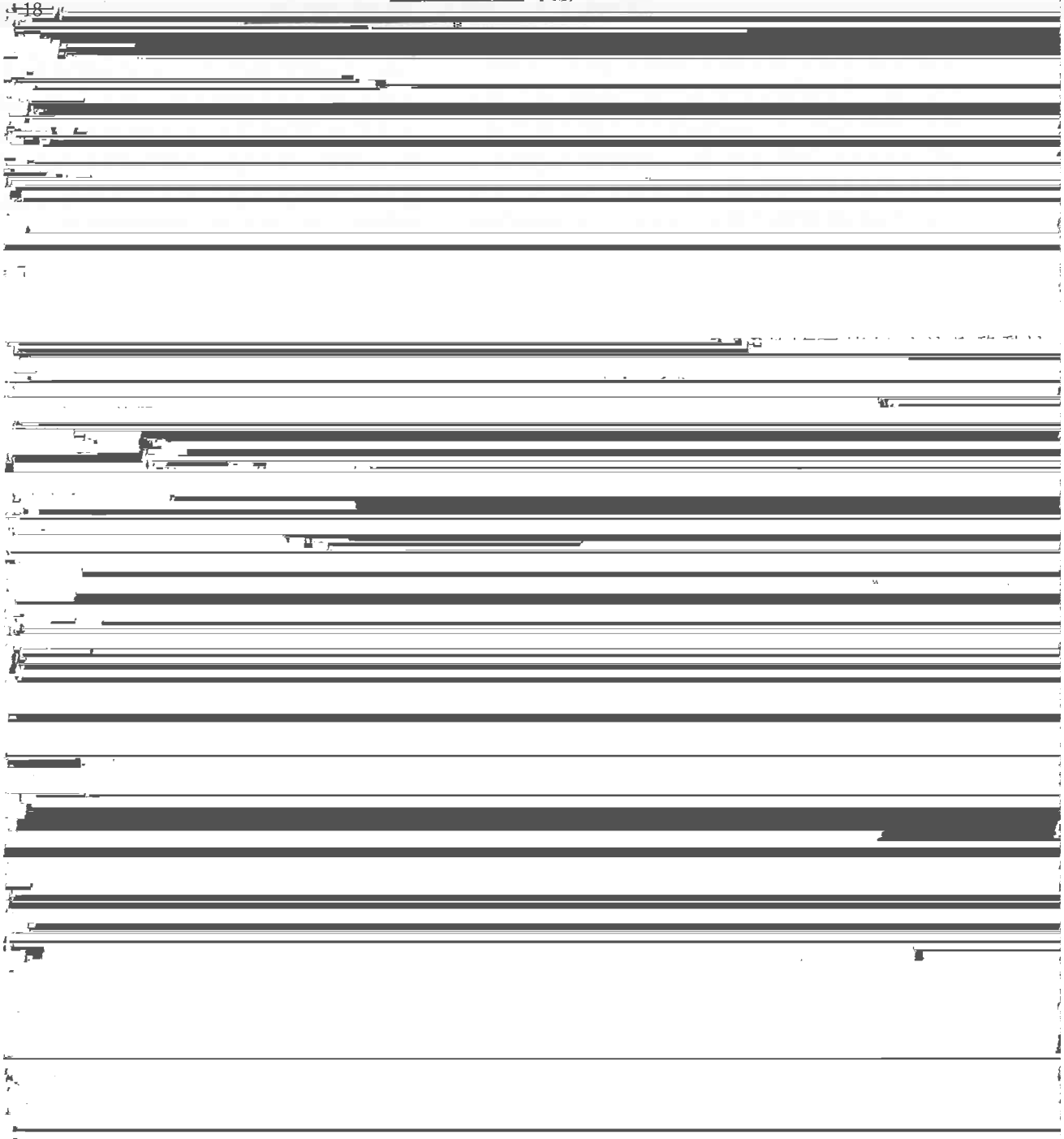
去腐し後の注



PH (H₂O)

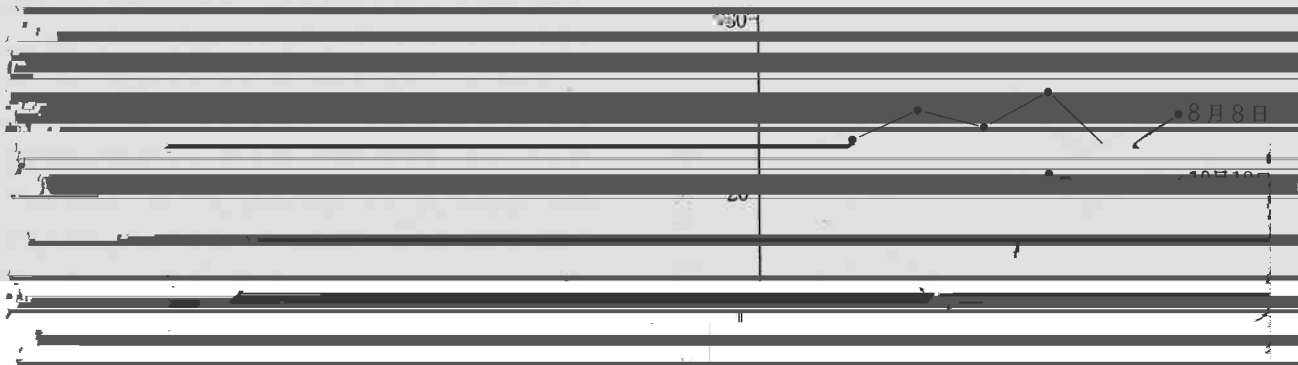
6.80



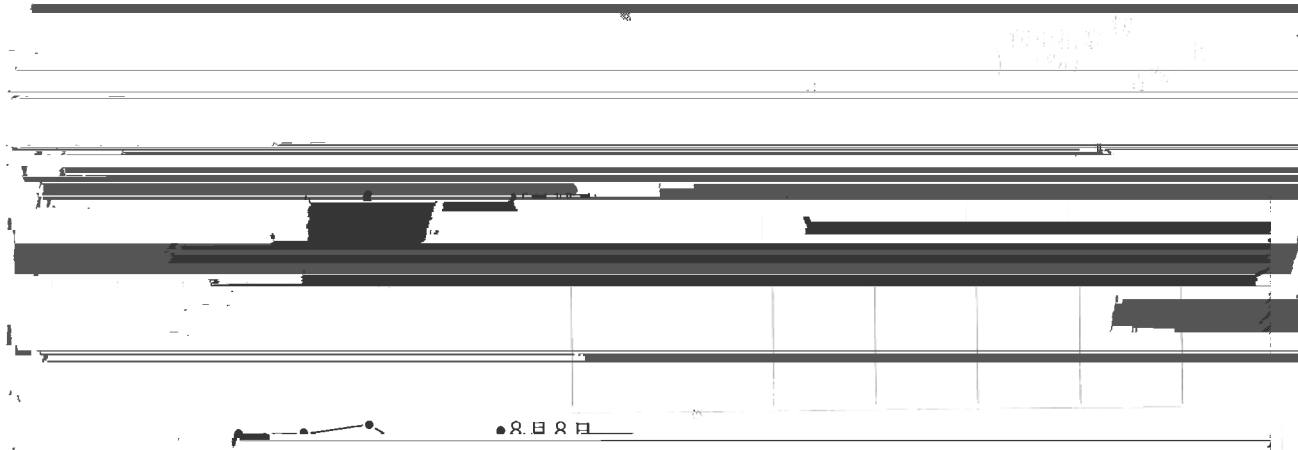


供試材 P.C.P. の
科の試験用試 片
組部 材

P.F.D



した。施肥量は三成分とも0.42g /ポットとした。なお
P C P 塩加燐安および塩加燐安の各成分は、それぞれ、



昭和二十一年(一九四六年)

「労働者の権利保護」のD.C.P.に「権限が賦与される」とな

表 1. 本州の都府県別 PCP 添加播種の普及状況

都府県	普及状況
北海道	
東北	
関東	
中部	
近畿	
中国	
四国	
九州	

(1962)

(A) 播種部別 PCP 添加播種の普及状況

播種部	普及状況
大豆	
小麦	
粟	
雑穀	

表 2. 本州の都府県別 PCP 添加播種の普及状況

都府県	普及状況
北海道	
東北	
関東	
中部	
近畿	
中国	
四国	
九州	

表 3. 本州の都府県別 PCP 添加播種の普及状況

都府県	普及状況
北海道	
東北	
関東	
中部	
近畿	
中国	
四国	
九州	

出典 佐藤 一彦、農業生産地誌 7-10 (1962)

都府県	普及状況
北海道	
東北	
関東	
中部	
近畿	
中国	
四国	
九州	